

厚生年金保険・国民年金事業の概況
(平成 27 年 1 月現在)

1. 総括

(1) 適用状況

○ 平成27年1月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,276万人であり、前年同月に比べて、12万人（0.2％）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均(円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,858,540	36,027,059	22,950,907	13,076,152	308,680
船員以外	1,854,115	35,975,420	22,899,268	13,076,152	308,567
一般男子	・	22,898,668	22,898,668	・	350,024
女子	・	13,076,152	・	13,076,152	235,966
坑内員	・	600	600	・	342,093
船員	4,425	51,639	51,639	・	387,531
国民年金	・	26,729,040	9,055,930	17,673,110	・
第1号	・	17,160,641	8,863,439	8,297,202	・
任意加入	・	244,722	83,515	161,207	・
第3号	・	9,323,677	108,976	9,214,701	・
合計	・	62,756,099	32,006,837	30,749,262	・
人口	・	126,970,000	61,750,000	65,220,000	・
うち20～59歳	・	62,670,000	31,690,000	30,990,000	・
共済組合(平成26年3月末)	・	4,394,472	2,772,558	1,621,914	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口(総務省統計局)である。

(2) 給付状況

○ 平成27年1月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,339万人であり、前年同月に比べて、46万人（1.1％）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,792,089	14,533,467	12,639,505	402,754	5,180,376	35,987
旧共済組合を除く	32,274,505	14,219,906	12,552,693	398,873	5,067,944	35,089
旧法	1,778,572	702,433	574,377	46,045	421,354	34,363
新法	30,459,731	13,501,309	11,975,402	351,409	4,631,611	・
(再掲)基礎あり	21,407,408	11,376,718	9,724,644	229,760	76,286	・
基礎または定額あり	22,458,715	11,903,121	10,555,594	・	・	・
基礎繰上げあり	1,781,497	452,120	1,329,377	・	・	・
基礎繰上げなし	20,677,218	11,451,001	9,226,217	・	・	・
基礎及び定額なし	3,017,996	1,598,188	1,419,808	・	・	・
船員保険(旧法)	36,202	16,164	2,914	1,419	14,979	726
旧共済組合計	517,584	313,561	86,812	3,881	112,432	898
旧法	181,891	138,246	5,467	1,657	35,623	898
新法	335,693	175,315	81,345	2,224	76,809	・
(再掲)基礎あり	249,919	172,171	75,836	1,822	90	・
国民年金 計	32,259,360	29,604,170	728,199	1,823,959	103,032	・
旧法拠出制	1,897,523	1,092,808	728,199	62,068	14,448	・
新法基礎年金	30,361,837	28,511,362	・	1,761,891	88,584	・
(再掲)基礎のみ	8,150,846	6,618,317	・	1,505,978	26,551	・
福祉年金	795	795	・	・	・	・
合 計	43,394,917	32,589,543	3,567,224	1,995,131	5,207,032	35,987

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。(表3において同じ。)

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険(旧共済組合を除く。)の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。(表3において同じ。)

○ 平成27年1月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆8千億円であり、前年同月に比べて、5千億円（1.0％）増加している。

表 3 制度別受給者年金総額 (単位：百万円)

	総 数	老 齢 給 付		障 害 年 金	遺 族 給 付	
		老 齢 年 金	通 算 老 齢 年 金		遺 族 年 金	通 算 遺 族 年 金
厚生年金保険 計	25,577,907	17,688,920	2,381,895	296,533	5,201,201	9,359
厚生年金基金代行分除く	23,883,995	16,117,574	2,259,328	296,533	5,201,201	9,359
旧共済組合を除く	24,889,067	17,158,225	2,360,344	292,581	5,068,772	9,146
旧 法	1,906,950	1,195,614	216,053	53,687	432,634	8,961
厚生年金基金代行分除く	1,886,280	1,178,597	212,401	53,687	432,634	8,961
新 法	22,908,512	15,916,684	2,143,297	235,959	4,612,572	・
(別掲) 基礎年金	14,536,200	7,921,556	6,345,296	194,726	74,623	・
厚生年金基金代行分除く	21,235,269	14,362,355	2,024,383	235,959	4,612,572	・
船員保険 (旧法)	73,605	45,927	994	2,935	23,565	185
旧共済組合計	688,840	530,696	21,550	3,952	132,429	213
旧 法	366,690	319,616	2,569	2,525	41,766	213
新 法	322,151	211,079	18,981	1,427	90,663	・
(別掲) 基礎年金	183,623	127,030	55,002	1,504	88	・
国民年金 計	21,177,407	19,341,622	161,277	1,575,480	99,028	・
旧法拠出制	747,571	525,677	161,277	54,075	6,542	・
新法基礎年金	20,429,836	18,815,945	・	1,521,405	92,486	・
(再掲) 基礎のみ	5,428,783	4,096,425	・	1,305,568	26,790	・
福祉年金	315	315	・	・	・	・
合 計	46,755,629	37,030,857	2,543,172	1,872,013	5,300,229	9,359

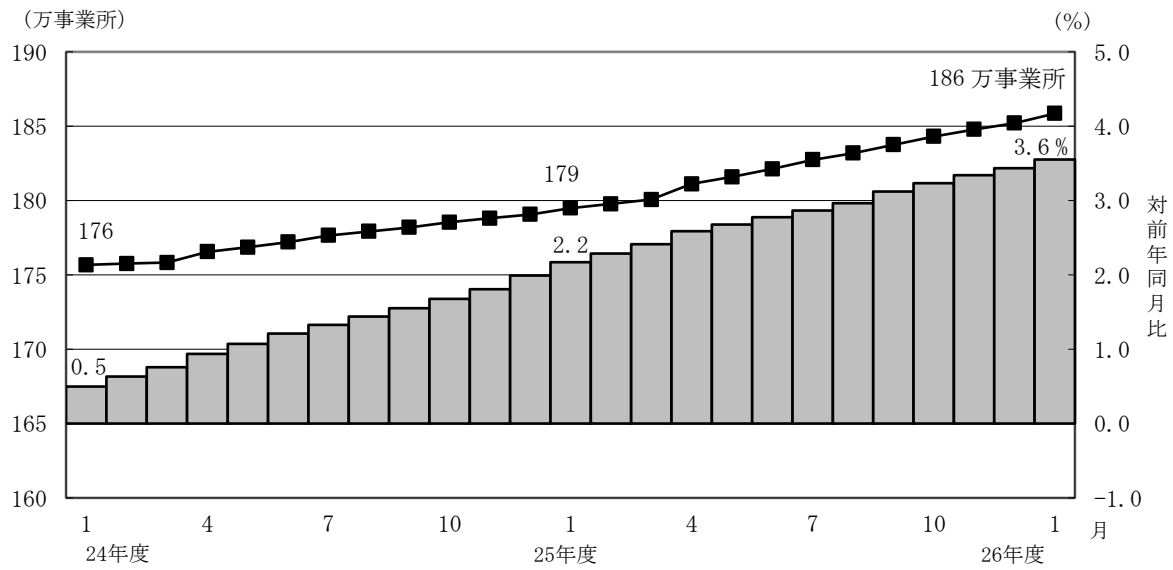
注1. 年金総額には一部停止額を含む。
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

2. 厚生年金保険

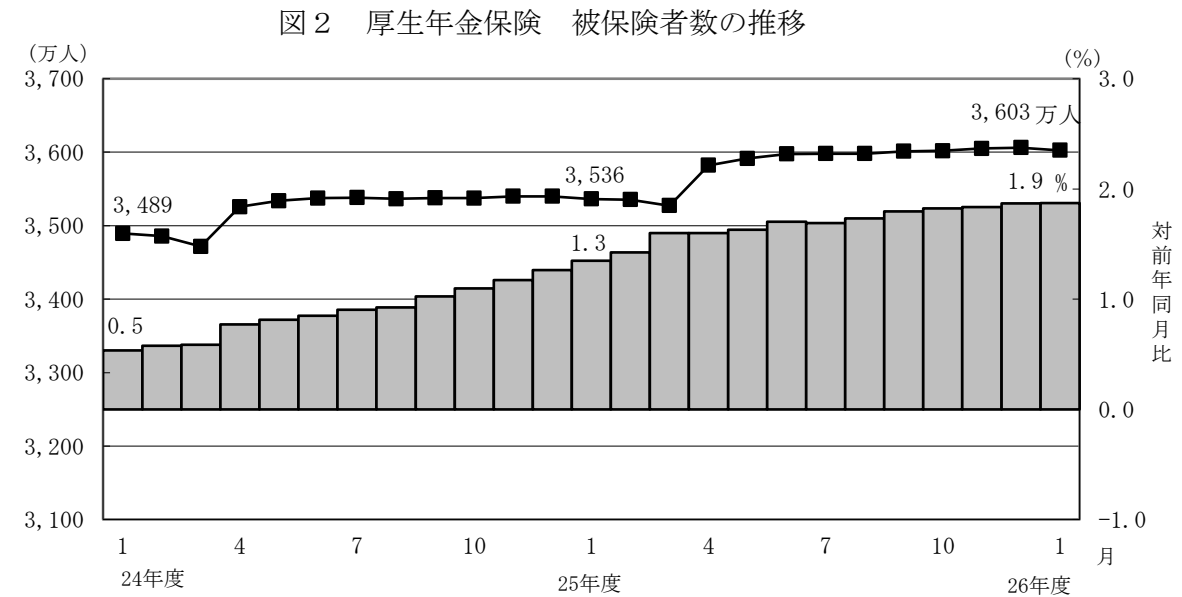
(1) 適用状況

○ 平成27年1月末の厚生年金保険の適用事業所数は186万事業所であり、前年同月に比べて6万事業所（3.6％）増加している。

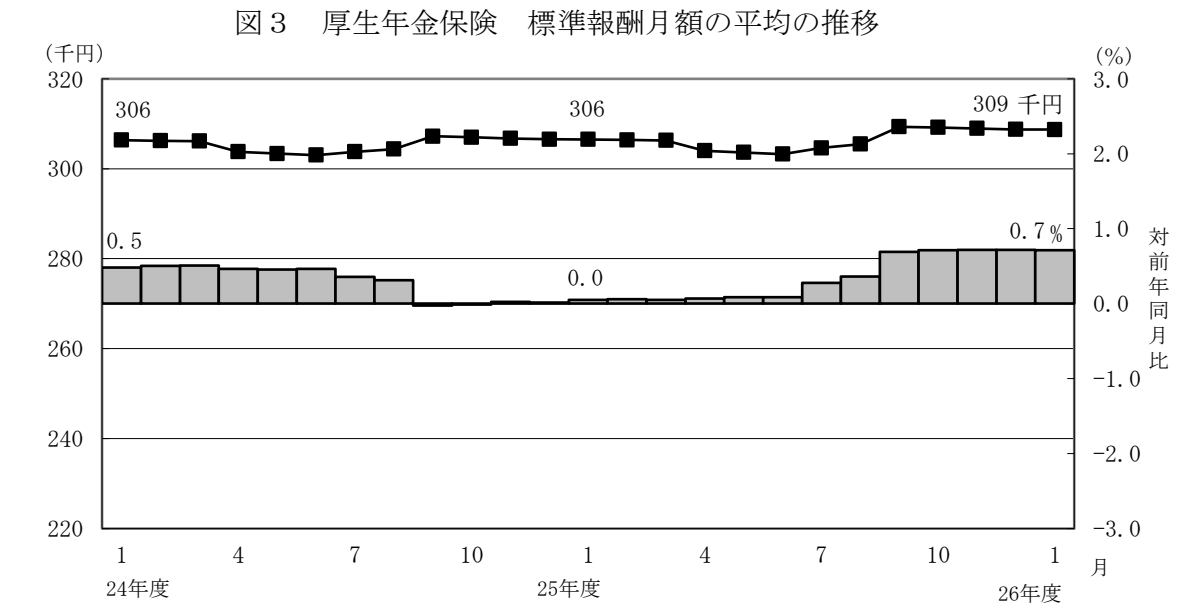
図 1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



- 厚生年金保険の被保険者数は3,603万人となっており、前年同月に比べて66万人（1.9%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,290万人（対前年同月比34万人、1.5%増）、女子が1,308万人（対前年同月比32万人、2.5%増）、坑内員が6百人（対前年同月比9人、1.5%減）、船員が5万人（対前年同月比1百人、0.2%減）である。



- 標準報酬月額の前平均は、30万8,680円となっており、前年同月に比べて0.7%増加している。内訳をみると、一般男子は35万24円（対前年同月比0.7%増）、女子は23万5,966円（対前年同月比0.9%増）、坑内員は34万2,093円（対前年同月比0.3%増）、船員が38万7,531円（対前年同月比0.8%増）である。

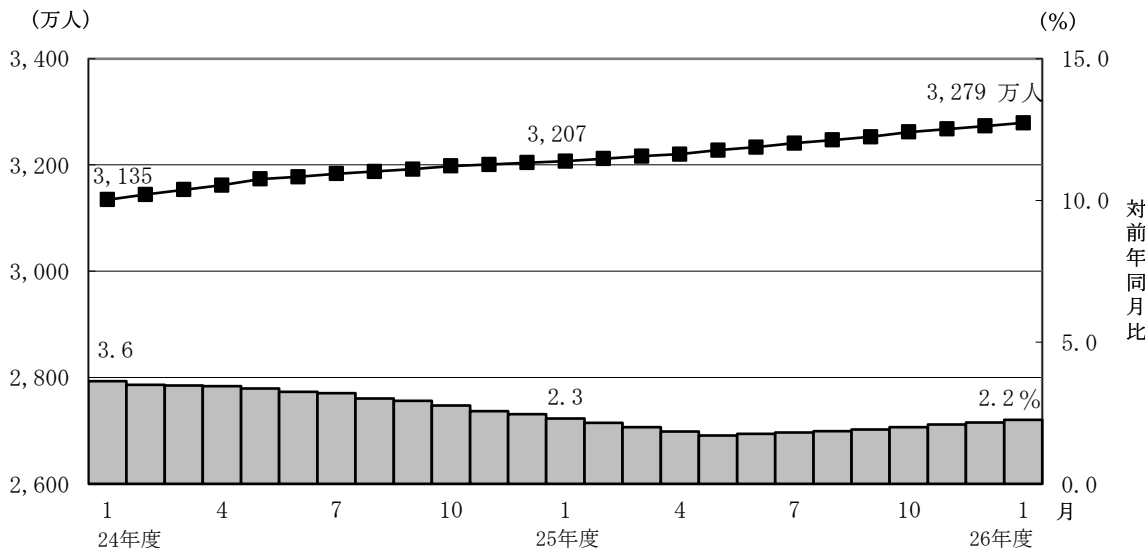


- 賞与支給事業所数は22万事業所、賞与支給被保険者数は383万人、標準賞与額の前平均は33万8,779円となっている。

(2) 給付状況

- 平成27年1月末の厚生年金保険受給者数は3,279万人（旧法厚年分178万人、新法厚年分3,046万人、旧法船保分4万人、旧共済分52万人）で、前年同月に比べて72万人（2.2%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,717万人（旧法厚年分128万人、新法厚年分2,548万人、旧法船保分2万人、旧共済分40万人）で、前年同月に比べて61万人（2.3%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分35万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて6千人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は522万人（旧法厚年分46万人、新法厚年分463万人、旧法船保分2万人、旧共済分11万人）で、前年同月に比べて10万人（2.0%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成27年1月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,576円となっている。
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万2,487円である。

○ 平成27年1月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は6万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

		失 業 給 付								
		件数 (人)			総停止年金額 (千円)			平均停止月額 (円)		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年	8 月	69,800	49,482	20,318	45,112,676	40,829,315	4,283,361	53,859	68,761	17,568
	9 月	68,504	49,038	19,466	45,112,900	40,992,557	4,120,344	54,879	69,661	17,639
	10 月	63,138	44,419	18,719	40,847,107	36,880,728	3,966,379	53,912	69,191	17,658
	11 月	61,427	43,062	18,365	39,579,335	35,681,574	3,897,761	53,694	69,051	17,687
	12 月	59,159	41,640	17,519	38,289,154	34,573,356	3,715,798	53,935	69,191	17,675
平成 27 年	1 月	55,119	38,540	16,579	35,589,963	32,052,772	3,537,191	53,808	69,306	17,779

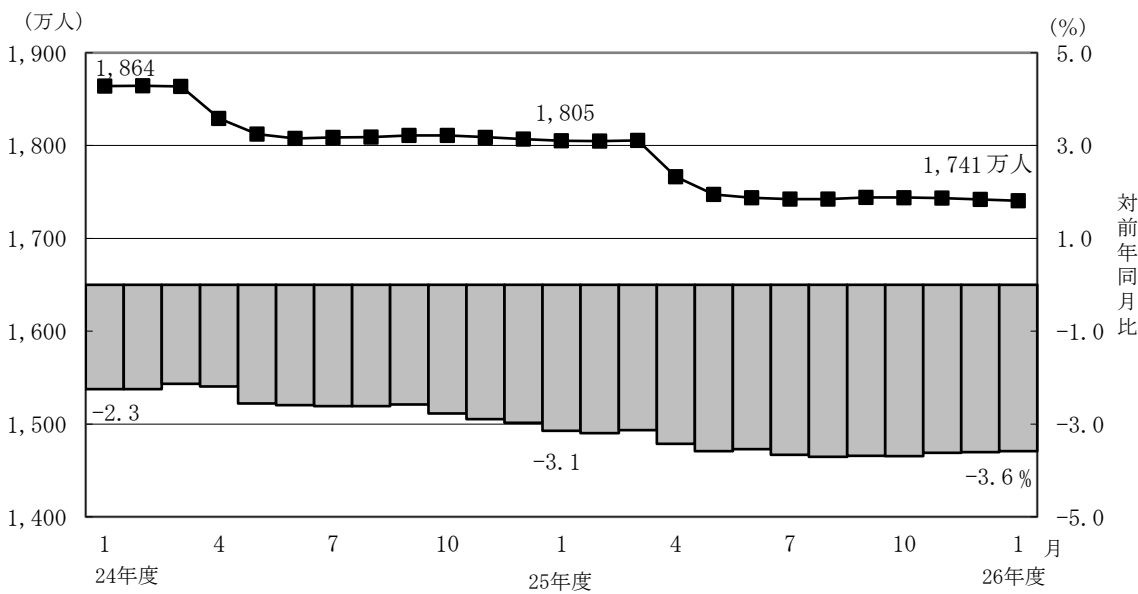
		高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
		件数 (人)			高年齢雇用継続給付による停止総額 (千円)			平均停止月額 (円)		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年	8 月	309,100	299,632	9,468	39,059,867	38,175,504	884,363	10,531	10,617	7,784
	9 月	305,370	296,138	9,232	38,900,728	38,027,463	873,265	10,616	10,701	7,883
	10 月	309,280	299,934	9,346	39,157,362	38,281,605	875,757	10,551	10,636	7,809
	11 月	309,158	299,745	9,413	38,992,449	38,115,603	876,846	10,510	10,597	7,763
	12 月	311,667	302,078	9,589	39,313,185	38,423,990	889,195	10,512	10,600	7,728
平成 27 年	1 月	310,106	300,702	9,404	39,248,694	38,367,896	880,798	10,547	10,633	7,805

3. 国民年金

(1) 適用状況

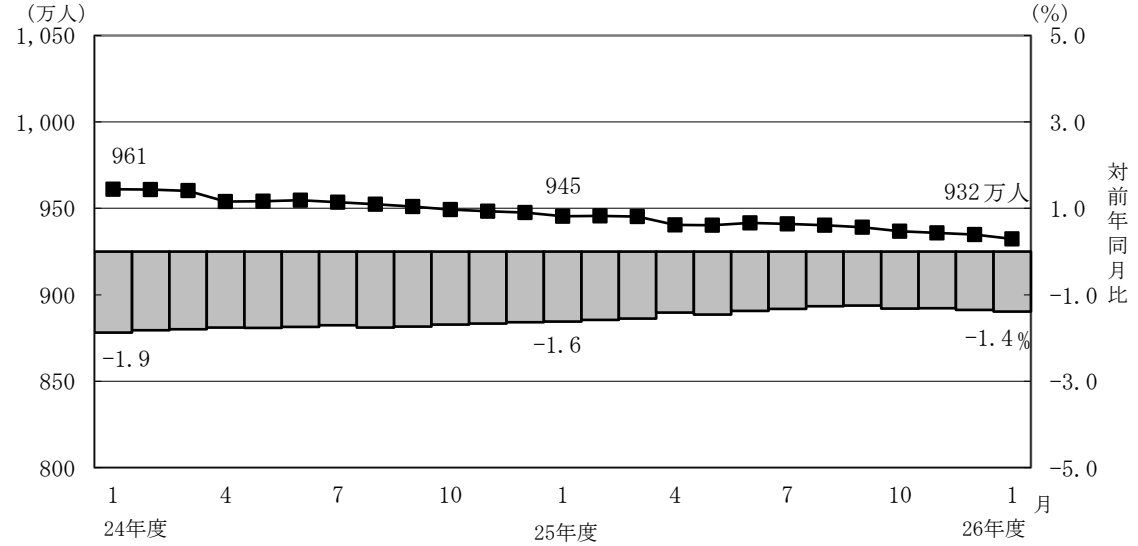
- 平成27年1月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,741万人となっており、前年同月に比べて65万人（3.6％）減少している。内訳をみると、男子は895万人（対前年同月比32万人、3.4％減）、女子は846万人（対前年同月比33万人、3.8％減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は932万人となっており、前年同月に比べて13万人（1.4％）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.4％減）、女子は921万人（対前年同月比13万人、1.4％減）となっている。

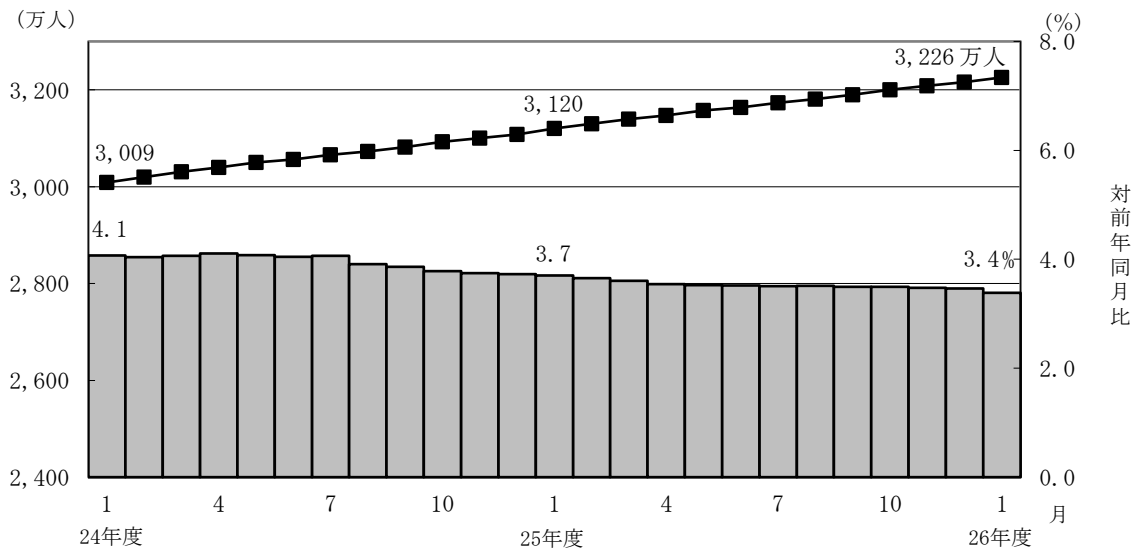
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



(2) 給付状況

- 平成27年1月末の国民年金受給者数は3,226万人（旧法拠出制190万人、基礎年金3,036万人）で、前年同月に比べて106万人（3.4%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は3,033万人（旧法拠出制182万人、基礎年金2,851万人）で、前年同月に比べて103万人（3.5%）増加している。
- 障害給付の受給者数は182万人（旧法拠出制6万人、基礎年金176万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制1万人、基礎年金9万人）で、前年同月に比べて3千人（3.0%）減少している。

図 7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成27年1月末で5万4,445円となっている。
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万1,366円となっている。
- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、1月は新規裁定者1万6千人のうち繰上げ受給権者が2千人となっており、繰上げ受給率は11.5%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。